令和５年４月１日以後お申込み分から適用

今回の住宅取得以外の借入内容に関する申出書（兼 既融資完済に関する念書）の書き方［記入例］

書き方

- 申出書は複写式（３枚）となっていますので、ボールペンで強くご記入ください。
- お申込人氏名及び収入合算者氏名は、お申込みをする方が必ず署名してください。
- 本記入例及び「今回の住宅取得以外の借入内容に関する申出書」の（ご記入時の注意点）をお読みいただいた上で、ご記入ください。
- 「借入名義人」欄及び「名義人」欄は、お申込人及び収入合算者のうちお借入れの契約名義人となっている方に○印をつけてください。（記入例１）
- 「借入金用途」欄、「完済予定がある場合」欄、「借入区分」欄、「不動産担保設定」欄、「区分」欄、「借入金種類」欄、「返済方法」欄及び「完済原資」欄は、該当する項目に○印をつけてください。（記入例２）
- 「今回の住宅取得以外の借入内容に関する申出書」は、借入申込書の「資金計画」欄の「その他の借入内容」欄及び「住宅新築後も返済を要する土地取得費の借入金」欄に含まれないものをご記入ください。借入内容の記載に当たっては、現在お借入れ中のローン等に加え、今回の住宅取得に伴うつなぎローンや住宅取得時までに借入予定の諸費用ローン等も併せてご記入ください。

＜記入例１＞
お借入れの名義人がお申込人の場合

借入名義人	
申込人	収入合算者
○	

＜記入例２＞
借入金用途が自動車購入のためのローンの場合

借入金用途（該当項目に○）
住宅　つなぎ
自動車　教育
商品割賦購入　生活費
その他（　　）

【「１　月払い等のお借入れ」欄の記載要領】

１　月払い等のお借入れ（住宅ローン・つなぎローン・自動車ローン・教育ローン・商品（携帯電話等を含みます。）の割賦購入など）

住宅ローンで、「住宅を売却して完済予定」に○印をつけた場合は、総返済負担率の算定に当たって返済額に含めないことができます。この場合は、「住宅ローンの借入残高」、「住宅の売却（予定）額」、「（売却（予定）額で住宅ローンを完済できない場合は）不足額を補填する財源（自己資金または借入金）」を確認できる書類の提出が必要となります。

区分	❶ 借入先	❷ 借入名義人 申込人	❷ 借入名義人 収入合算者	❸ 借入金用途（該当項目に○）	❹ 当初借入日	❺ 当初借入金額	❻ 現在借入残高	❼ 年間返済額の1/12	❽ 最終返済年月	❾ 完済予定がある場合（該当項目に○） 住宅ローンの場合	❿ 住宅ローン以外の場合	⓫ 完済（予定）年月	金融機関使用欄
①	ⓐ ○○銀行	○		住宅　つなぎ 自動車　教育 商品割賦購入　生活費 その他（　　）	2001年 9月 7日	2,000 万円	1,000 万円	79,221 円	2026年 9月	住宅を売却して完済予定 上記以外で完済予定 完済済	予定有 完済済	2023年 6月	□
②	ⓑ ○○信用金庫		○	住宅　つなぎ 自動車　教育 商品割賦購入　生活費 その他（　　）	2019年 3月 1日	230 万円	180 万円	65,667 円	2024年 3月	住宅を売却して完済予定 上記以外で完済予定 完済済	予定有 完済済	年 月	□
③	ⓒ ○○ファイナンス	○		住宅　つなぎ 自動車　教育 商品割賦購入　生活費 その他（　　）	2020年 6月 8日	5 万円	2 万円	1,568 円	2025年 6月	住宅を売却して完済予定 上記以外で完済予定 完済済	予定有 完済済	2023年 6月	□

❶ 借入先
○○銀行、○○信用金庫、○○ファイナンス等、お借入先の金融機関名をご記入ください。

❷ 借入名義人
お申込人及び収入合算者のうちお借入れの契約名義人となっている方に○印をつけてください。

❸ 借入金用途
以下を参考に、該当する用途に○印をつけてください。その他に○印をつけた場合は、（　　）内に借入金用途を具体的にご記入ください。

- 住　　宅：お借入れが住宅ローンの場合に○印をつけてください。当該住宅ローンで取得した住宅を賃貸中または賃貸予定としている場合は、「３　賃貸中または賃貸予定の住宅に関するお借入れ」欄にご記入ください。
- つ　な　ぎ：今回取得する土地や住宅について、つなぎローンを利用されている場合は○印をつけてください。
- 自　動　車：お借入れが自動車の購入のためのローンの場合に○印をつけてください。
- 教　　育：お借入れがお子さま等の教育費のローンの場合に○印をつけてください。
  お申込人または収入合算者が、返済義務のある奨学金を返済している場合は、その他に○印をつけた上で、（　　）内に奨学金とご記入ください。
- 商品割賦購入：お借入れが家電製品、家財、携帯電話等の商品購入のローン、分割払い等の場合に○印をつけてください。
- 生　活　費：お借入れが冠婚葬祭、旅行費用等の生活費に充てるためのローンの場合に○印をつけてください。
- そ　の　他：お借入れが上記のいずれにも該当しない場合に○印をつけて、（　　）内に借入金用途を具体的にご記入ください。

❹ 当初借入日
お借入れの契約日をご記入ください。

❺ 当初借入金額
お借入れの当初の借入金額をご記入ください。

❻ 現在借入残高
お申込日現在のお借入れの残元金をご記入ください。１万円未満は切り捨ててください。

❼ 年間返済額の１/12
ボーナス併用払いをご利用の場合、ボーナス払いを併用しないものとして計算したときの毎月返済額をご記入ください（１円未満切捨て）。

❽ 最終返済年月
お借入れの契約上の最終返済年月をご記入ください。

❾ 完済予定がある場合（住宅ローンの場合）

- 住宅を売却して完済予定
  ：お借入れが住宅ローンの場合で、当該住宅ローンで取得した住宅を売却して完済する予定のときは、「住宅を売却して完済予定」に○印をつけてください。また、以下の全ての書類を金融機関にご提出ください。
  ① 現在お借入れの住宅ローンの残高が分かる書類（例：残高証明書）
  ② 住宅売却（予定）額が分かる書類（例：売買契約書、媒介契約書　※チラシは不可）
  ③ ②の住宅売却（予定）の金額が①の住宅ローンの残高を下回る場合は、不足分の完済原資を証する書類（例：手持金による場合は、預貯金の通帳、新たに借入金が発生する場合は、金融機関からの借入承認通知書）
  （注）②及び③に記入した完済予定のお借入れの完済原資を「７　完済予定のお借入れがある場合の完済原資」にご記入ください。
- 上記以外で完済予定
  ：お借入れが住宅ローンの場合で、当該住宅ローンで取得した住宅を売却する以外の方法で完済する予定のときは、「上記以外で完済予定」に○印をつけてください。また、今回の借入申込みの【フラット35】の契約手続き時までに、完済したことが確認できる書類を金融機関に提出いただき、完済を確認させていただきます。
  （注）完済予定のお借入れの完済原資を「７　完済予定のお借入れがある場合の完済原資」にご記入ください。
- 完　　済　　済：お借入れについて既に完済されている場合に○印をつけてください。

❿ 完済予定がある場合（住宅ローン以外の場合）

- 予　　定　　有：今回の借入申込み【フラット35】の契約手続き時までにお借入れを完済する場合に○印をつけてください。また、契約手続き時までに当該お借入れを完済したことを証する書類を金融機関に提出いただき、完済を確認させていただきます。
  （注）完済予定のお借入れの完済原資を「７　完済予定のお借入れがある場合の完済原資」にご記入ください。
- 完　　済　　済：お借入れについて既に完済されている場合に○印をつけてください。
  ＜つなぎローンを利用される場合の取扱い＞
  つなぎローンを利用される場合は、「予定有」に○印をつけてください。また、契約手続き時までにつなぎ資金であることを証する書類を金融機関にご提出ください。なお、完済したことを証する書類の提出は不要です。

⓫ 完済（予定）年月
完済済の場合は完済した年月を、完済予定の場合は完済予定の年月をご記入ください。ご契約どおりのお支払いを継続する場合の完済（予定）年月は、「❽最終返済年月」と同じ年月をご記入ください。

【「２　クレジットカードによるお借入れ・カードローン」欄の記載要領】

（記載要領に記載がない項目については、【「１　月払い等のお借入れ」欄の記載要領】を参照してください。）

２　クレジットカードによるお借入れ（ショッピング（分割払い・リボルビング払い）・キャッシングなど）・カードローン

区分	❶ 借入先	❷ 借入名義人 申込人	❷ 借入名義人 収入合算者	⓬ 借入金用途	⓭ 借入区分（該当項目に○）	⓮ カード契約年月	⓯ 借入限度額（借入枠）	❻ 現在借入残高	❼ 年間返済額の1/12	⓰ 完済予定がある場合（該当項目に○）	⓫ 完済（予定）年月	金融機関使用欄
①	○○カード ⓓ	○		旅行費用	ショッピング キャッシング カードローン	2018年 8月	万円 万円 100万円	万円 万円 98万円	20,000 円	予定有 完済済	2023年 6月	□
②	○○クレジット ⓔ		○	家電購入費用	ショッピング キャッシング カードローン	2020年 3月	70万円 万円 万円	57万円 万円 万円	20,000 円	予定有 完済済	年 月	□

⓬ 借入金用途
借入金の用途をご記入ください。（例：家電購入費用、冠婚葬祭費用、旅行費用等）

⓭ 借入区分
ショッピング（分割払い・リボルビング払い（一括払いの場合は記入不要））・キャッシングまたはカードローンのうち、以下を参考に該当する区分に○印をつけてください。

- ショッピング：カード決済で商品を購入し、分割払いまたはリボルビング払いとした場合にのみ○印をつけてください。
- キャッシング：クレジットカードのキャッシング機能を利用している場合に○印をつけてください。
- カードローン：金融機関などで借入限度額（借入枠）を決めて契約し、所定の方式で分割して返済するローンを利用している場合に○印をつけてください。

⓮ カード契約年月
実際の借入日ではなく、クレジットカードを契約した年月をご記入ください。

⓯ 借入限度額（借入枠）
実際の借入金額ではなく、契約時に設定されている借入限度額（借入枠）をご記入ください。

⓰ 完済予定がある場合

- 予　　定　　有：今回の借入申込み【フラット35】の契約手続き時までにお借入れを完済する場合に○印をつけてください。また、契約手続き時までに当該お借入れを完済したことを証する書類を金融機関に提出いただき、完済を確認させていただきます。
  （注）完済予定のお借入れの完済原資を「７　完済予定のお借入れがある場合の完済原資」にご記入ください。
- 完　　済　　済：お借入れについて既に完済されている場合に○印をつけてください。

【「３　賃貸中または賃貸予定の住宅に関するお借入れ」欄の記載要領】

（記載要領に記載がない項目については、【「１　月払い等のお借入れ」欄の記載要領】及び【「２　クレジットカードによるお借入れ・カードローン」欄の記載要領】を参照してください。）

３　賃貸中または賃貸予定の住宅に関するお借入れ

（１）　現在、賃貸中または賃貸予定としている住宅に関するお借入れ（建設、購入、リフォームなどのお借入れ）がある場合は、下表にお借入れの内容をご記入ください。

（２）　ご記入いただいたお借入れがアパート（１棟の共同住宅）向けのローンである場合は、総返済負担率の算定に当たって、返済額に含めないことができます。この場合は、お借入れの対象となっている建物の登記事項証明書を提出いただき、アパートであることを確認させていただきます。

区分	❶ 借入先	❷ 借入名義人 申込人	❷ 借入名義人 収入合算者	❹ 当初借入日	❺ 当初借入金額	❻ 現在借入残高	❼ 年間返済額の1/12	❽ 最終返済年月	⓱ 賃貸戸(室)数	⓲ 不動産担保設定（該当項目に○）	⓰ 完済予定がある場合（該当項目に○）	⓫ 完済（予定）年月	金融機関使用欄
①	○○銀行 ⓕ	○		2012年 9月 20日	12,000 万円	7,000 万円	350,000 円	2047年 9月	12 戸(室)	有担保 / 無担保	予定有 / 完済済	2047年 9月	□
②	○○クレジット ⓖ	○		2020年 3月 3日	1,500 万円	1,400 万円	70,000 円	2040年 3月	1 戸(室)	有担保 / 無担保	予定有 / 完済済	2040年 3月	□
③	○○ファイナンス ⓗ		○	2020年 9月 5日	1,000 万円	900 万円	50,000 円	2040年 9月	1 戸(室)	有担保 / 無担保	予定有 / 完済済	2023年 6月	□

⓱ 賃貸戸（室）数
現在賃貸中または賃貸予定の住宅の戸（室）数をご記入ください。（例：12室のアパートを保有している場合は12室、１室の投資用マンションを保有している場合は１室等）

⓲ 不動産担保設定
お借入れの対象となっている賃貸中または賃貸予定の住宅に対して、抵当権等の担保権設定の有無について、該当する項目に○印をつけてください。

【「４　地代・家賃」欄の記載要領】

（記載要領に記載がない項目については、【「１　月払い等のお借入れ」欄の記載要領】を参照してください。）

４　地代・家賃（今回取得する住宅へ入居した後も継続して支払う地代・家賃がある場合）

建設地が借地の場合の地代、親族居住型、セカンドハウス及び単身赴任者の場合の自宅家賃などをご記入ください。

区分	⓳ 区分（該当項目に○） ⓘ	❷ 名義人 申込人	❷ 名義人 収入合算者	⓴ 支払月額
①	地代 / 家賃	○		30,000 円

⓳ 区分（地代・家賃）
今回取得する住宅へ入居した後も継続して支払う地代または家賃がある場合は、以下を参考に該当する区分に○印をつけてください。
- 地　　代：今回取得する住宅の敷地が借地の場合の賃料です。
- 家　　賃：親族居住用住宅もしくはセカンドハウスを取得する場合またはお申込人もしくは収入合算者が単身赴任者の場合の自宅家賃等です。

⓴ 支払月額
支払月額または年間支払額の１/12の金額をご記入ください。

【「５　１～３のお借入れ及び４の地代・家賃の合計」欄の記載要領】

５　１～３のお借入れ及び４の地代・家賃の合計（今回のお申込みの長期固定金利型住宅ローン（機構買取型）のご契約手続き後も返済を継続するお借入れ及び地代・家賃の合計）

次のお借入れ等の合計をご記入ください。

（１）　１及び２の表に記入したお借入れのうち、「完済予定がある場合」欄で○印をつけなかったお借入れの「現在借入残高」欄及び「年間返済額の１/12」欄の合計

（２）　３の表に記入したお借入れのうち、「アパート向けのローン」以外であり、かつ「完済予定がある場合」欄で○印をつけなかったお借入れの「現在借入残高」欄及び「年間返済額の１/12」欄の合計

（３）　４の表に記入した地代・家賃の「支払月額」欄の合計（「年間返済額の１/12の合計」欄に記入）

㉑ 件数	3 件	㉒ 現在借入残高の合計	1,580 万円	㉓ 年間返済額の1/12の合計	165,667 円

㉑ 件数
上表に記載のある（１）～（３）の合計件数をご記入ください。（例：記載要領の記入例の場合は、ⓑ、ⓖ及びⓘの合計３件です。）

㉒ 現在借入残高の合計
上表に記載のある（１）及び（２）の「現在借入残高」欄の合計金額をご記入ください。（例：記載要領の記入例の場合は、ⓑの「現在借入残高」欄180万円、ⓖの「現在借入残高」欄1,400万円の合計1,580万円です。）

㉓ 年間返済額の１/12の合計
上表に記載のある（１）～（３）の「年間返済額の１/12」欄の合計金額をご記入ください。（例：記載要領の記入例の場合は、ⓑの「年間返済額の１/12」欄65,667円、ⓖの「年間返済額の１/12」欄70,000円、ⓘの「支払月額」欄30,000円の合計165,667円です。）

【「６　事業用のお借入れ」欄の記載要領】

（記載要領に記載がない項目については、【「１　月払い等のお借入れ」欄の記載要領】を参照してください。）

６　事業用のお借入れ（事業を営んでいる方で、個人名義のお借入れ（賃貸住宅に関するもの以外）がある場合）

（１）　賃貸住宅に関するお借入れがある場合は、下表ではなく、必ず「３　賃貸中または賃貸予定の住宅に関するお借入れ」の表にご記入ください。

（２）　下表にご記入いただいたお借入れに関して、借入金の用途や借入内容の詳細が分かる資料の提出をお願いすることがあります。

区分	❶ 借入先	❷ 借入名義人 申込人	❷ 借入名義人 収入合算者	㉔ 借入金種類（該当項目に○）	㉕ 借入金用途（具体的な用途を記載してください。）	❹ 当初借入日	❺ 当初借入金額	❻ 現在借入残高	㉖ 不動産担保設定（該当項目に○）	㉗ 返済方法（該当項目に○）※（　）内は年間返済額の１/12
①	○○銀行	○		運転資金 / 設備資金 / リース / その他	××の機材購入	2019年 8月 10日	600 万円	300 万円	有担保 / 無担保	割賦返済（64,000円） / 割賦以外

㉔ 借入金種類
以下を参考に該当する種類に○印をつけてください。
- 運転資金：お借入れが事業用の運転資金のローンの場合に○印をつけてください。
- 設備資金：お借入れが事業用の設備資金のローンの場合に○印をつけてください。
- リース：お借入れが事業用の機械や設備のリースの場合に○印をつけてください。
- その他：お借入れが上記のいずれにも該当しない場合に○印をつけてください。

㉕ 借入金用途
お借入れの用途について、具体的にご記入ください。

㉖ 不動産担保設定
事業用のお借入れに当たって、不動産に担保を設定している場合は○印をつけてください。

㉗ 返済方法
お借入れの返済方法について、該当する項目に○印をつけてください。また、割賦返済をご利用の場合は、年間返済額の１/12の金額を（　　）内にご記入ください。

【「７　完済予定のお借入れがある場合の完済原資」欄の記載要領】

７　完済予定のお借入れがある場合の完済原資

区分	㉘ 完済原資（該当項目に○）	㉙ 内容（金融機関・預金種類など）	㉚ 金額（※）
①	預貯金 / 贈与金 / 住宅売却代金 / その他（　　）	媒介契約書の売却予定額	800 万円
②	預貯金 / 贈与金 / 住宅売却代金 / その他（　　）	親からの贈与	1,000 万円
③	預貯金 / 贈与金 / 住宅売却代金 / その他（　　）	○○銀行普通預金	300 万円

※金額欄の合計は、１～３の表に記入したお借入れのうち、「完済予定がある場合」欄で○印をつけたお借入れの現在借入残高の合計金額以上になっていることをご確認ください。

㉘ 完済原資
１～３の表に記入したお借入れのうち、「完済予定がある場合」欄のお借入れの「現在借入残高」がある場合は、以下を参考に該当するものに○印をつけてください。その他に○印をつけた場合は、（　　）内に完済原資の種類を具体的にご記入ください。
- 預貯金：お申込人または収入合算者名義の預貯金を完済原資とする場合に○印をつけてください。
- 贈与金：親族等からの贈与金を完済原資とする場合に○印をつけてください。
- 住宅売却代金：住宅を売却して完済原資とする場合は○印をつけてください。
- その他：上記のいずれにも該当しない場合は○印をつけて、（　　）内に完済原資の種類を具体的にご記入ください。

㉙ 内容（金融機関・預金種類など）
完済原資の内容について、以下を参考にご記入ください。
- 完済原資を預貯金とした場合：金融機関名及び預金種類をご記入ください。
- 完済原資を贈与金とした場合：誰からの贈与かをご記入ください。

㉚ 金額
完済原資の金額をご記入ください。
なお、「金額」欄の合計は、１～３の表に記入したお借入れのうち、「完済予定あり」のお借入れの「現在借入残高」欄の合計金額以上となっているかをご確認ください。（例：金額欄の合計は、ⓐの「現在借入残高」欄1,000万円、ⓒの「現在借入残高」欄２万円、ⓓの「現在借入残高」欄98万円、ⓑの「現在借入残高」欄900万円の合計2,000万円以上の金額となっていることをご確認ください。）